



罫線を使いこなして 見やすい文書に仕上げよう

一太郎

表にしたり、情報をわかりやすく見せたりするのに欠かせない罫線は、一太郎が得意とする機能の1つ。

そこで、「もっと罫線を使いこなしたい!」という先生方の声にお応えして、基本から小技まで、校務にすぐに使える罫線の技を幅広くご紹介します!



コネタくんからのアドバイス!

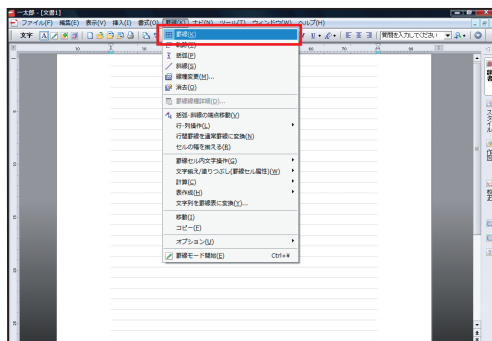
「罫線モード」で引く罫線だけでなく、リーダや取消しラインなど、罫線代わりに使える機能もあるよ。状況に応じて使い分けよう!

罫線を引く

1 「罫線-罫線」を選択し、「罫線モード」に切り替えます。「罫線モード」になると、十字カーソルが表示されます。

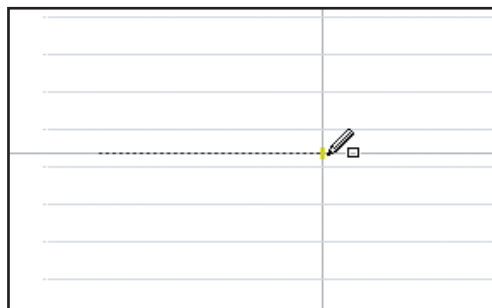
One Point

ツールボックスの 「罫線開始/終了」をクリックするか、[Ctrl] + [¥] キーを押しても「罫線モード」に切り替えられます。



2 始点でマウスのボタンを押し、終点に向かってドラッグします。マウスのボタンを離すと罫線が引けます。

キー操作で引く場合は、始点で [Enter] キーを押し、[↑]・[↓] キーで垂直、[←]・[→] キーで水平方向にカーソルを移動して、終点で [Enter] キーを押します。



One Point

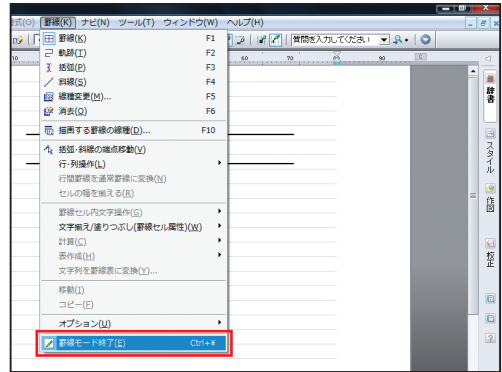
文字の横に線を引きたいときは「通常罫線」に、行と行の間に線を引きたいときは「行間罫線」にします。「通常罫線」と「行間罫線」は、[F8] キーで切り替えられます。



- 3** 罫線を引き終わったら「罫線－罫線モード終了」を選択して「罫線モード」を終了します（「文字入力モード」に戻ります）。

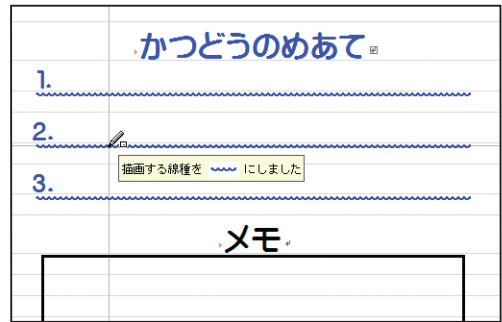
One Point

[Ctrl] + [¥] キーを押すか、[Esc] キーを押しても「罫線モード」を終了できます。

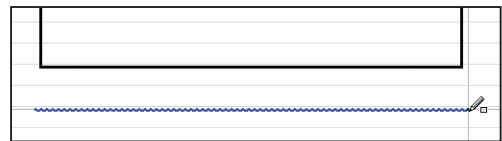


すでにある罫線と同じ線種の罫線を引く

- 1** すでに引かれた罫線のパターンや色を、次に引く罫線でも使いたい場合は、「罫線モード」ですでに引かれた罫線の上に十字カーソルを合わせ、[Ctrl] + スペースキーを押します。

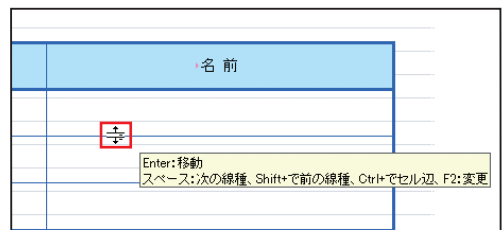


- 2** 別の場所でドラッグして罫線を引くと、すでに引かれた罫線と同じ線種で罫線が引けます。

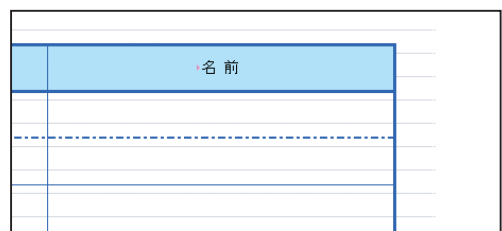


「文字入力モード」で線種を変更する

- 1** 「文字入力モード」で編集集中に、罫線の上でクリックし、スペースキーを押します。



- 2** 線種が変わります。さらにスペースキーを押すと、次の線種に変わります。



One Point

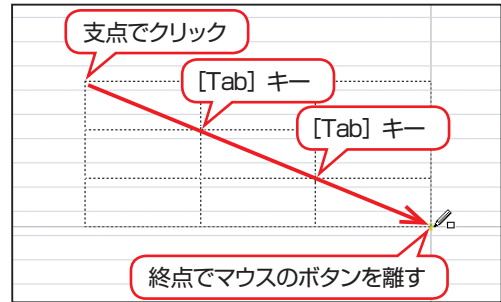
この方法で線種を変更できるのは、通常罫線のみです。また、[Shift] + スペースキーを押すと1つ前の線種に戻れます。

[Tab] キーで表を描く

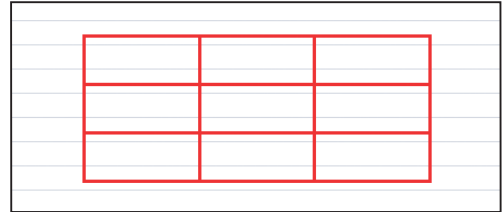
- 1 「罫線モード」で、区切り線を引きたい位置で [Tab] キーを押しながら、始点から終点まで斜め方向にドラッグしていきます。

One Point

同じ位置で再度 [Tab] キーを押すと、区切り線の指定を取り消せます。



- 2 表の終点でマウスのボタンを離すと、区切り線付きの表が一気に描けます。

**表の罫線だけを消す / 文字だけを消す**

- 1 表の中の罫線だけを消したい場合は、[編集 - 消去 - 罫線消去] を選択し、表全体を囲むようにドラッグします。



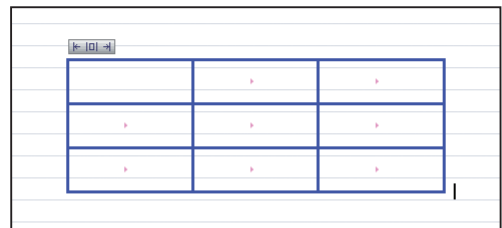
- 2 マウスのボタンを離すと罫線だけが消去されます。

One Point

[編集 - 消去 - 全部消去] を選択すると、文字と罫線を一度に消去できます。



- 3 表の中の文字だけを消したい場合は、[編集 - 消去 - 文字消去] を選択し、表全体を囲むようにドラッグしてマウスのボタンを離します。今度は文字だけが消去されます。



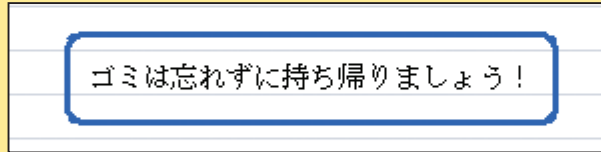
ちょこっと
アレンジ!



表の角を丸くする!

角が丸い四角や表を描くときに、終点で [Ctrl] キーを押しながらマウスのボタンを離すと、四角や表の角を丸めることができます。

同じ四角や表も優しい印象に変えられるので、重宝する機能です。

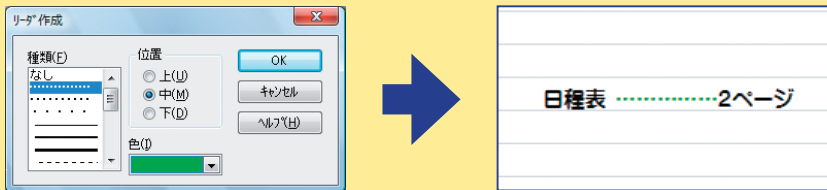


文字と文字を結ぶ線を簡単に描く!

目次などで、項目名とページ数の間をつなぐのに使われることが多いリーダも、罫線の代わりに使える便利な機能です。

リーダを入れるには、まず、リーダを入れたい文字と文字の間にカーソルを置きます。次に、[挿入 - 記号 / リーダ / スペース - リーダ作成] を選択。[リーダ作成] ダイアログボックスが表示されたら、種類や色などを選んで [OK] をクリック。これでリーダが挿入されます。

また、挿入されたリーダの長さは文字の前後にスペースを入れることで調整できます。リーダをクリックしてから [F2] キーを押すと、リーダの線種や位置を変更できるので、好みに合わせて変更しましょう。



キー操作で長さを調節できる線を描く!

文字飾りの一種である「取消ライン」を使って、キー操作だけで長さを調節できる線を描いてみましょう。

取消ラインを引くには、まず線の長さ分だけスペースを入力します。次に、入力したスペース全体をドラッグして選択し、[書式 - 文字飾り - 取消ライン] を選択し、線種を選んで [OK] をクリック。取消ラインが表示されたら、あとは取消ライン上でスペースキーを押したり、[Delete] キーを押したりするだけです。自由自在に長さを調節できるので、罫線の代わりとして大活躍。おたよりで使う「きりとりせん」にも応用できます。

